

事業所における自己評価結果

公表：令和 6年 3月 31日

事業所名 こども発達支援カミーノ

職員数6名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や、改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		法令で決められた通りのスペースを用意している。
	②	職員の配置数は適切である	6		法令で定められた通りの人員配置を行っている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	余分な表示を減らし、支援に必要なものだけをそろえるなど室内の環境を構造化している。また利用児童の年齢層や特性を考慮し室内にはマットを敷き活動しやすい環境に整えている。室内にマットを敷き詰めているため、そのままでは車いすなどの利用は難しいが、マットなので、必要に応じて外すこともできる。清掃は支援が終わる都度行い、おもちゃなどもマニュアルに従って消毒等を行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		虐待対策委員会、感染委員会等各種業務委員会を設置し、会議等で業務の見直しを図っている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2	今年度開所したため、評価表をお願いするのも今回が初めての実施となる。3月下旬にホームページで公開する。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	法人が受けているISO9001（日本品質保証機構）の監査を受ける予定である。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や、改善内容又は改善目標
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		定例のケースカンファレンスでピアスーパービジョンを行うだけでなく、大学の先生から実際の支援のフィードバックを受ける機会を設けている。また外部研修への参加を奨励している。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		日々の支援の中で積み上げたアセスメントを基に個別支援計画書も見直しを行っている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	新版K式発達検査による臨床心理士の評価を活用している。また今後S-M社会生活能力検査等の導入も検討している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		アセスメントを「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5項目について行い、保護者参加型の支援について計画書を作成している。また日ごろから地域の保健、福祉、教育機関との連携を密に取っており、支援計画に活かしている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		事業所内のサービス担当者会議や支援前後のカンファレンスで計画書の内容を確認している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		児童指導員全員で、プログラムを作成している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		週ごとにプログラムを変更している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	1	小集団の中での個別活動は行っているが、個別支援は行っていない。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		毎日朝の申し送りの際に行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		支援後教室内で振り返りを行い、必要に応じて個別カンファレンスも行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		専用のソフトを使い連絡帳やサービス提供記録を作成している。また記録をもとに定期的なカンファレンスを行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や、改善内容又は改善目標
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		計画書の支援内容と児童本人の状況を勘案しながら見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		こまめに申し送りやカンファレンスを行い、どの職員でも利用児童の状況を理解している状況になるよう努めている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		守谷市とは毎月定例の連携会議を行っており、現在つくばみらい市とも調整中である。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			医療的ケアが必要な児童は、重症心身障害のある児童の支援をするための基準を満たした職員配置を行っていないため、支援はしていない。しかし当事業所に通っているお子さんに関しては地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を心がけている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	来年度入園の児童には、保護者と相談し入園先に情報提供書等を用意し、入園後に幼稚園等に職員が訪問をする計画を立てている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	市の教育支援センターと連携を図っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		残念ながら近隣市町村に児童発達支援センターはない。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4	事業所同士の交流はまだ行っていないが、幼稚園に入る年齢の児童には並行通園を奨励している。
㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6		守谷市障がい福祉サービス事業所連絡協議会に加入している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や、改善内容又は改善目標
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		保護者参加型の支援を行っているため、支援の中で児童の状況を伺ったり、課題についての保護者思い、考え等の確認を行っている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	3	来年度は通所児童の保護者が通えるペアレントトレーニングの講座を行う予定で、また、通所していない児童の保護者向けに医師により座談会も開催を予定している。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		利用契約の際、保護者等申込者に説明をしている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		保護者からのご相談と、実際に児童の様子を見せていただいたアセスメントを基に個別支援計画書を作成し、保護者の同意を得てから実際の支援を行っている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		保護者参加型支援であるため、保護者の必要に応じていつでも相談に対応できる。また希望があればご家族の都合の良い日程で相談日を設けることも可能である。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		今年度は2回保護者会を行った。来年度も4回開催を計画している。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		職員の勤務体制から対応できない相談もいただいたため、来年度に向け職員体制を見直している。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	活動については週1程度ホームページ上で情報発信している。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	6		地域連携等で個人情報を利用するための同意書を保護者からいただいている。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		必要に応じて対応していく。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	今年度はもりやふくしまつりや市の障がい者福祉週間のイベントに参加したが、事業所で行事は行わなかった。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や、改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		職員は委員会で定期的にマニュアルの見直しや関連する研修など行っている。また保護者には契約時にご説明し、事業所内の構造化のため掲示はできないので、事業所内にファイルを置き内容を確認してもらえるようにした。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	職員は同一法人の病院での防災訓練に参加し、消火器の使い方等確認をした。来年度は事業所で「避難訓練週間」を作り、事業所で児童、保護者と防災訓練を行う予定である。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		利用申し込みをいただく際に服薬状況を確認させていただいている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3	食事の提供は行っていないため、アレルギーに関しては保護者から情報をとっている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		事業所内でヒヤリハット事例が起きた場合は、危機管理委員会が会議を開き、情報共有を図って注意喚起を促している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		年1回法人で行う研修に職員全員が参加し、外部研修に参加した場合は、スタッフ内で情報共有を図っている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1	準備はしているが、現在対象となる児童は通所していない。職員の行動が身体拘束になり得る場面を職員間で共有し対応に注意喚起している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。